表Ⅱ-44 計画路線6 (都)嘉数中学校線

	幅員	幅員 18m (現況)  *  (中国 18m (現況)
現状	沿道市 街地	・沿道サービス施設及び住宅が立 地 ・佐真下土地区画整理地内 ・嘉数中学校、沖縄カトリック小 学校・中学高等学校、佐真下公 園
	断面図	2% 3% 5%
	平面区	沖縄カトリック小学技 沖縄カトリック小学技 沖縄カトリック中海高学校
整	整備によ	・拡幅を想定しない場合、影響なし
整備した場合	る影響	(並松街道として拡幅整備をする場合は、別途検討必要)
) た 世	市街地環	・並松街道としての再整備
场合	境改善へ	
	の期待	

表Ⅱ-45 計画路線7 (都)湧橋線

	1	
	幅員 沿道市 街地	幅員 16m (現況)  ・沿道サービス施設及び住宅が立 地 ・一部、佐真下第二土地区画整理 事業により整備済
現状		5% 5% 5% 5% 5% 5% 5% 5% 5% 5% 5% 5% 5% 5
+/-	整備によ	・施行中の佐真下第二区画整理地内への新たな道路計画による住宅地内の再
整 備	る影響	整備及び交通量増加
L  -	市街地環	・国道 330 号を補完する幹線道路の早期整備による交通渋滞緩和や地域住民
した 場合	境改善へ	の生活環境改善等

の期待

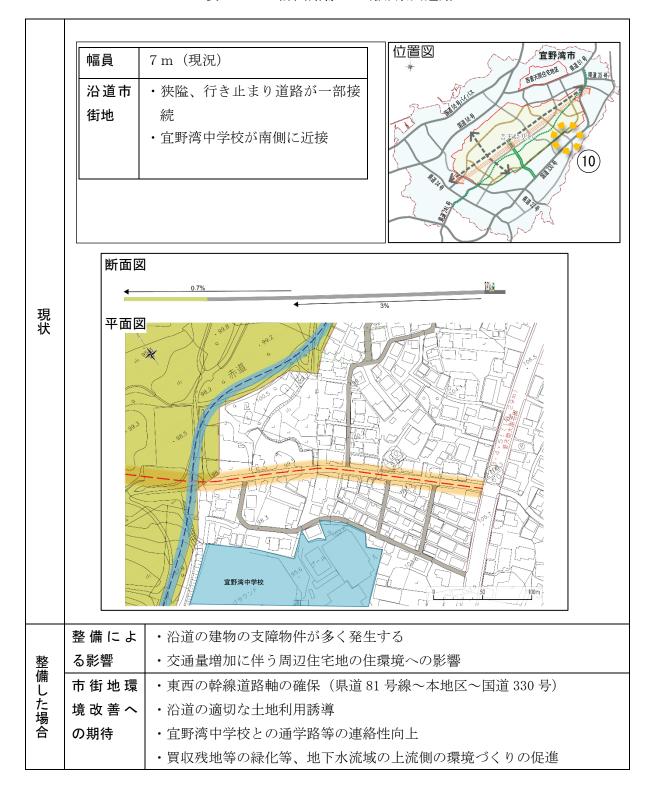
表 II -46 計画路線 8 (仮)東西道路 3(シンボルロード)

	幅員	一 位置図 *	
	沿道市 街地	<ul><li>・いこいの市民パーク内</li><li>・狭隘、行き止まり道路等が接続</li></ul>	
現状	断面図 36% 39% 17% 17% 平面図 17% 100m 100m 100m 100m 100m 100m 100m 100		
整	整備によ	・いこいの市民パークの現在と同様の利用は困難	
備	る影響		
整備した場合	市街地環	・地区東側のシンボル道路空間の形成(本地区〜国道 330 号)	
場   合	境改善へ	・沿道の緑化等、地下水流域の上流側の環境づくりの促進	
	の期待		

# 表Ⅱ-47 計画路線9 (仮)東西道路2

# 位置図 宜野湾市 幅員 4.5m (現況) ・狭隘、行き止まり道路等が接続 沿道市 ・近接して宜野湾市老人福祉セン 街地 ター・はごろも学習センター、 宜野湾市赤道児童センター、あ かみち公園が立地 断面図 現状 平面図 整備によ ・沿道の建物の支障物件が多く発生する 整備した場合 る影響 ・交通量増加に伴う周辺住宅地の住環境への影響 市街地環 ・老人福祉センター等、既存公共施設と合わせた市街地環境改善 ・ 沿道の適切な土地利用誘導 境改善へ の期待 ・買収残地等の緑化等、地下水流域の上流側の環境づくりの促進

表Ⅱ-48 計画路線10 (仮)東西道路1



#### 4)計画路線で想定される整備課題

これまでの検討事項の内容を踏まえ、宜野湾市の都市計画道路網で想定される主な 整備課題について、都市計画道路の位置づけのある路線と新規路線に分けて、以下に 整理する。

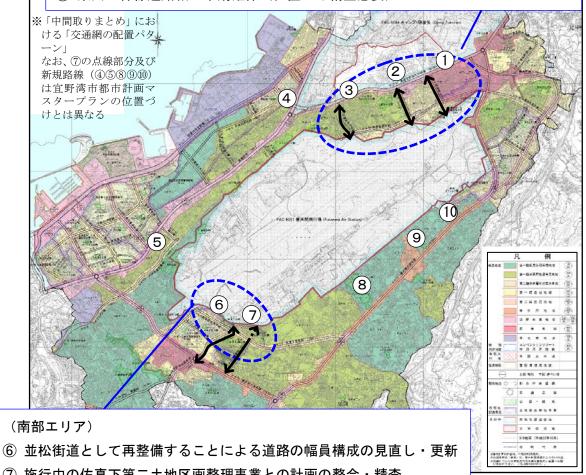
## ① 都市計画道路の位置づけあり

### 表 II - 49 計画路線で想定される整備課題(都市計画道路の位置づけあり)

- ・シンボル道路空間の形成(①⑥)
- ・既存公共施設、跡地等と連携した整備(②)
- 計画路線の位置づけ精査(①③⑥⑦)

#### (北部エリア)

- ① シンボル道路としての拡幅整備(国際医療拠点との連携を踏まえ、検討必要)
- ② 小中学校の通学路としての利用も考慮した整備
- ③ 東西の幹線道路軸の早期確保(位置づけ精査必要)



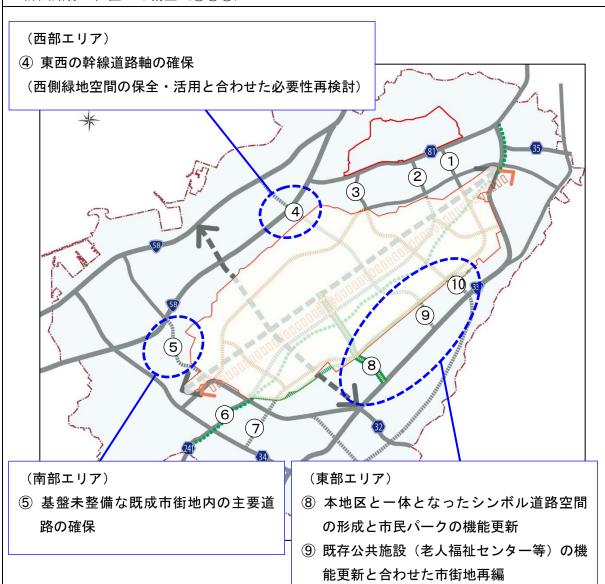
- ⑦ 施行中の佐真下第二土地区画整理事業との計画の整合・精査

※整備課題は、「中間取りまとめ」における「交通網の配置パターン」を基に跡地側で検討し たものであり、宜野湾市都市計画マスタープランの位置づけとは異なる

### ② 新規計画路線

# 表Ⅱ-50 計画路線で想定される整備課題(新規路線)

- ・シンボル道路空間の形成(8)
- ・既存公共施設、跡地等と連携した整備(⑨)
- ・計画路線の位置づけ精査(4.5.10)



※整備課題は、「中間取りまとめ」における「交通網の配置パターン」を基に跡地側で検討したものであり、宜野湾市都市計画マスタープランの位置づけとは異なる

⑩ 東西の幹線道路軸の早期確保

(位置づけ精査必要)